

令和7年8月19日(火)付茨城新聞第1面



※茨城新聞社の許可を得て掲載しております
※記事の転載・配布はご遠慮ください

令和7年8月19日(火)付茨城新聞第7面



倉塚(水戸桜ノ牧)準V

競
男子100バタフライ 水泳



〈競泳男子100メートルバタフライ決勝〉53秒22で準優勝した
水戸桜ノ牧の倉塚遼=広島県ひろしんビッグウェーブ



競泳男子100メートルバタフライで準優勝した水戸桜ノ牧の倉塚遼=広島県ひろしんビッグウェーブ

悔しさも成長実感

2冠を狙った男子100メートルバタフライの倉塚遼(水戸桜ノ牧3年)は53

秒22で2位だった。「スタートで遅れてしまい、それが悔しい」と話した

ものの、昨年立てなかつた決勝の舞台で力泳し、表情はすがすがしかつた。

予選を1位で通過し、第4レーンで決勝に臨んだ。前日の200メートル同様、スタートから先頭に立ちかつたが「少し(動きが)硬かった気もする」と振り返ったように、力みが裏目に出てしまい2位で折り返した。後半も健闘したが、52秒台の1位に及ばなかった。

准優勝し「1位にはなれなかつたが、昨年は決勝すら残れなかつた」と

これまで来た」のような感覚を抱いた。100メートル予選敗退の無念も胸にあり、前回大会で味わった苦みと奮闘が成長につながった。

将来自身のオリンピック出場を目指す期待のスマ

1。「悔しかつたからこそ、大学に入つても記録をまた伸ばし、1位になれるよう頑張りたい」と誓う。この銀メダルは、さらなる高みへ羽ばたく原動力となる。

(福本透也)

※茨城新聞社の許可を得て掲載しております
※記事の転載・配布はご遠慮ください